

戴 健宇(タイ・チェンユウ) Chien-Yu TAI

台湾東部の花蓮生まれ、実践大学音楽学 部(打楽器専攻)を卒業。2016年に映像部 門と音楽部門を融合したスタジオ 「KTOneSTUDI0」を設立。

2017年ロンドンのキングストン大学で テレビおよび映画音楽の修士号を取得 し、現在は劇伴作家/作曲家として活動 している。

演奏家・作曲家として、ヨーロッパ文 化の影響を強く受けるロンドンに留学 中、様々な芸術家・演奏家・グループと 積極的にコラボレーションを行う。世界 的なヴイオラ奏者ニルス・メンケマイヤ ーは、台湾リサイタルツアーにおける台 湾民謡のアレンジを二度も戴に依頼。嘉 義聯合管楽団(嘉義ユナイテッド・ウィ ンド・アンサンブル)の委嘱曲は日本で は墨田川高等学校吹奏楽部で初演され た。

映画音楽作品は、国際映画賞で何度かノ ミネートされ、ベスト映画音楽賞を受賞、 多くの映画祭で上映された。台湾帰国後、 数多くのサウンドトラック(劇伴音楽) を作曲するかたわら、様々な音楽や作曲 技法を研究して独自のスタイルを作り 上げることに力を注ぐ。東西文化と台湾 の音楽芸術を融合し、音楽制作の無限な 可能性を探求し続けている。 Originally from Hualien, in the eastern part of Taiwan, Tai graduated from Shih Chien University with a Bachelor's degree in Music of Percussion. While establishing KTOne STUDIO in 2016, Chien Yu, Tai merged elements of both film and music into his studio. In 2017, Tai received his Master of Music in Composing for Film and Television from Kingston University, London. Tai is currently an active scorer and composer.

As Tai has education and experience in both performing and composing, during the time he studied in London, a city under the influence of rich European culture, Tai proactively looked for opportunities to work with different art performers, players, and groups. Nils Mönkemeyer, a world-renowned viola player, had even invited Tai on two occasions, to adapt and to play a Taiwanese ballad on a Taiwan recital tour. Invited by Chiayi United Wind Ensemble, Tai created a piece for

symphonic band, which was greatly appreciated by Satoshi Yagisawa, a Japanese symphony composer. Moreover, this piece was played by the Tokyo Metropolitan Sumidagawa High School band, led by Nami Tsurukai, for the first time in Japan. As for Tai's scoring pieces, he has been nominated for, and received, the best film scoring awards in select international film festivals. Tai's works have been played on many other film festivals as well. Since Tai returned home to Taiwan, he has become a seasoned music scorer. Besides composing, Tai pushes himself to learn and to improve. He exposes himself to different music cultures and composing skills, and hopes to create something of his own. Tai mixes eastern culture together with western culture, and the art of Taiwanese music, to look for and explore the unlimited possibilities in creating music.

曲目解説

《変容》 (Transform for Percussion Octet)

天地万物は必ず成長というプロセスを経験する。青虫は繭から飛び出し、ひなは羽を 広げ、種子は芽を出し、花を咲かせる。 成長の道のりは、予測不可能な要素に満ちて いる。それゆえ「変容」の成果はより豊かで強くなる。

樂曲解説

《蜕變》 (Transform for Percussion Octet)

成長,是天地萬物皆必經之過程,毛毛蟲破繭而出、雛鳥展翅高飛、種子發芽出含苞待 放的花朵。成長的路上充斥著無法猜測的因子,讓『蛻變』後的果實,更加豐富與堅強。



Transform for Percussion Octet



Copyright @ KTOne STUDIO (tai1030@gmail.com)

曲目解説

《エタニティー》 (Eternity For Six Percussionists and Orchestra)

島国の民として、静寂の夜に星空が織りなす広大な景色に強く心を打たれたことはないだろうか。

この目まぐるしい世界には、幾多の人が自分とは違う環境に住んでいる。

小船に乗って喧噪から離れ、まるで世界の果てに向かうかのように音楽が始まる。宇 宙の広さを感じさせる様々な効果音、様々な金属楽器が生み出す残響により、聴衆の 耳を刺激し、音の無限の循環をたどり、低音域楽器の残響も、海の中の穏やかな美し さのように感じられる。

嵐の前の静けさはいつだって美しい。一転して、雷や稲妻をクラベスと太鼓を使い、 リズムの変化で表現。6人の打楽器奏者の息をぴったり合わせて終盤へ向かう。嵐が 止み晴れ渡った空が見えてくる。大海原の風に乗り、星空の元、再び世界の果てへと航 海に出る。

樂曲解説

《幻戒》(Eternity For Six Percussionists and Orchestra)

身為海島國的子民,你是否曾經在靜夜星空的夜晚,被那浩瀚無垠、點線面連成一線的 景象,給震撼著。在這紛紛擾擾的忙碌世界中,有千千萬萬的人,生活在與我們背道而 馳的環境當中;樂曲開始帶我們遠離塵囂,乘著小船,像似來到世界的盡頭,運用許多 不同的音效色彩,讓我們感受到宇宙的浩瀚,各種金屬樂器所製造出的殘響,讓觀眾的 耳朵在各種不同的刺激當中,還依循著無限循環的音形與低音域樂器聲響的殘留,像似 大海中平靜時刻的美好。暴風雨前的寧靜,總是特別美好,響棒與鼓類交錯的節奏變化, 像似雷鳴與閃電這一段無疑地展露出了擊樂六個人精準的節拍與默契,將樂曲帶入後段, 雨過總會天晴,再度神遊四海,在氣候變化多樣的大海與靜夜星空中,乘著風,繼續航 向世界的盡頭,竟而消失在那無邊無際的天際線中。

幻戒

Eternity



曲目解説

《エニグマ変奏曲》(原題《独奏主題による変奏曲》)6 人の打楽器奏者と弦楽合奏のための) (Variations on an Original Theme (Enigma) for Six Percussionists and Strings Quintet)

イギリスの作曲家エルガーの有名な曲の1つであるこの作品は、妻のアリスと一緒に 変奏曲が表す友人を当てるゲームをピアノで即興的に弾いた際に生まれた。初演は大 きな反響を呼んだ。作品は軽快でユーモラスな雰囲気から始まり、重苦しい思いで終 わる。それぞれの変奏曲は、私の友人の個人的な肖像画です。友人たちの個性を理解 した上で、彼らの視点からオリジナルのテーマを作り、さまざまなスタイルの変奏曲 を描いてみた。この作品を「謎(エニグマ)」と名付けた。しかし、これらは妻や私の 主観に基づいているため、厳密には友人の肖像画とは言えない。このバージョンは 6 人の打楽器奏者と弦楽合奏向けにアレンジした。

樂曲解説

《謎》

(Variations on an Original Theme (Enigma) for Six Percussionists and Strings

Quintet)

謎語變奏曲是英國作曲家艾爾加著名的成名曲之一,此作品是他與妻子愛麗絲,在一次 遊戲中,用鋼琴即興,猜測變奏出來所代表的朋友,而創作出來的作品,他將作品獻給 他的妻子與好友們,首演後獲得極大的迴響,首演後艾爾加寫道:樂曲始於一片輕鬆幽 默的氣氛,但在沉重的思緒下完結。每個變奏都是我(艾爾加)好友的個人肖像。基於 我對主人翁個性的理解,我嘗試站在他們的角度以不同的手法處理原主題,創作出風格 各異的變奏,這亦是我將此作命名為「謎語」之故。不過嚴格來說這些變奏又稱不上是 好友的肖像,因為它們只是基於我和我太太對各位的主觀認識所創作出來的。此次將此 版本改編給六位擊樂家以及弦樂室內樂版本。

Variations on an original theme "Enigma"



Copyright @ KTOne STUDIO (tai1030@gmail.com)